

会長退任挨拶 L 峠 宏

今日まで健康で無事にライオンズ活動が出来ましたことは、会員の皆様方のご理解、ご厚情の賜物であると深く感謝を致しております。ありがとうございました。又、L山崎直哉、L大藪城正には幹事と会計の大役を引き受けて頂き、今日まで私を支え、共に行動をして頂き大変お世話になりました。心から感謝しております。

さて、4月6日のスリランカ車椅子贈呈式において、握手をされた時、私の手を離さず両手で喜びを伝えてくれた「感動」を忘れる事が出来ません。又、台北市の林森公園、松本市の美鈴湖、中村区の横井山緑地における植樹ACTにおいて、地元の皆様に喜んで頂いた姿が目に見えます。社会奉仕活動の原点は地域の人々に喜びと感動を与え、同じようにその感動を頂くことを実感致しました。

この一年間L柴田計画・大会委員長はじめ各委員長、並びに各役員の皆様には多大なご協力を賜りありがとうございました。

又、L河瀬、L坪井にはL大場の26年振りとなるRCの推薦の為、大いなる貢献をされたことには心から敬意を表します。

最後に、奉仕活動で結ばれた皆様様に感謝を申し上げまして退任の挨拶とさせていただきます。

会長就任挨拶 L 鈴木和彦

突然の会長就任打診を頂いて4ヶ月になりますが、この間何もわからず右往左往しながら、L高木に幹事を、L速水に会計を、各委員長・副委員長をそれぞれにお願いしたところ、気持ちよくお引き頂き心から感謝申し上げます。

中村LCの5年後、10年後がどうあるべきかを考えながら、活気ある楽しいクラブにしたいと思えます。ご指導ご鞭撻よろしくお願い致します。

「友愛の絆で結ぶ 奉仕の輪」これは今年度のクラブスローガンです。

まず、友愛の絆・・・何でも言い合えるフランクな人間関係が出来れば、クラブ内に公式・非公式な人の輪ができてクラブライフが楽しくなると思えます。

LCは奉仕団体であるといわれます。奉仕とは外へ向かっての「社会奉仕」を企画立案して、それに参加することです。この企画立案を行う組織が各委員会です。従って、委員会活動に参加することは立派な奉仕(アクティビティ)であると思えます。本年は、どうしたら委員会出席が増やせるのか考えたいと思えます。それにはまず、良い人間関係が出来ているかどうか重要です。

「お互いに気軽に声を掛け合って出席を促すことが出来る」

「例会や委員会の後の交流が楽しみだ」

こんな友愛の輪が出来てくるよう努力致します。

会員増強については、毎年いわれておりますが、今年ももちろん多大な努力をしなければなりません。退会者の防止も新入会員獲得以上の取り組むべき課題だと思えます。一度ライオンズを理解し入会した方が何らかの理由で退会されるのは、残念でなりません。仕事や家庭の都合でやむを得ないことも多いでしょうが、人間関係が上手く構築出来ず去られる方もあります。会合に出ても親しく話の出来る人がいないとか、楽しくないから、高い会費を払ってもメリットがないとかでの退会者が出ないようなクラブにしたいと思えます。

以上私のライオンズに対する最も基本的な思いを述べました。

しかし、これらは会員全ての方のご協力なくしては一步も前へ進みません。友愛の絆でもってご指導・ご協力をお願い致します。

幹事就任挨拶 L 高木弘文

今期、名古屋中村ライオンズクラブ幹事に就任致しました高木弘文です。

CN35周年記念大会時に大変な重責を引き受けたと感じておりますが、ただ準備委員会の席上では、各委員の方々の率直な意見を聞かせて頂きクラブに対する強い思いがひしひしと伝わり、私自身、大変に勉強になりました。幹事セミナーで、神輿担ぎの理論(全員が力を入れてクラブという「お神輿」を担ぐ)という講話がありましたが、浅学菲才の私であります、鈴木会長の方針のもと、一年間しっかりと神輿を担いで参りたいと存じます。何卒、皆様方のご支援・ご協力の程、宜しくお願い致します。末筆になりましたが、会員皆様のご健勝とご多幸並びに名古屋中村ライオンズクラブの発展を祈念して挨拶とさせていただきます。

会計就任挨拶 L 速水清朗

この度クラブの運営でもっとも大切な職務である会計という重責を拝命し身が引き締まる思いです。企業同様ライオンズクラブ活動を円滑に運営して行く為にはクラブの預金・現金の管理を適切に行わなければなりません。鈴木会長、高木幹事の指導の下、財務委員長L中山恭三、テール・ツイスターL大竹のご協力を仰ぎ職務を進めてまいります。何卒ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。